



2018年度

第2号

発行：2019年1月  
社会福祉法人 白百合学園  
広報誌編集委員会

## 新年のご挨拶

2019年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、当法人の運営にご指導・ご支援をいただきまして誠にありがとうございました。

さて、当法人では新体制のもと、施設利用者、ご家族の皆様にご満足していただけるサービスの提供と地域への貢献を目指した取り組みを行っております。経営組織のガバナンスの強化や事業運営の透明性の向上に向けて、また、権利擁護や組織体制の見直しなどを進める中で、社会福祉法人の求められる役割を一層感じております。まだまだ多くの課題はございますが、初心を忘れず、役職員一同力を合わせて対応していきたいと考えております。今後とも皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、皆様のご多幸とご健勝とを祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

理事長 森 光 規 之



## アリス・エリザベス・ホーム



### ●グループホームでの生活

昨年の秋から、グループホームは、職員6名の勤務体制となりました。

全部で7か所のホームに分かれ、現在は男性12名、女性12名の合計24名がご利用されています。各ホームは、個々に自分の部屋を持ち、日中は会社や地域の作業所、施設内のレストラン、食堂、農園で働きながら生活をされています。

共同生活の中で社会的性や生活力を身に付けながら、入居者それぞれにとっての自立を目指していただきたいと考えています。

日用品の購入については、職員が定期的に伺うことで、入居者の方々とのコミュニケーションの時間が増えました。

また、食事については、今までどおり施設で召し上がる方や、ご自分で用意される方、ご希望のある方には、自炊の支援をさせていただいています。

新しい職員も入り、良い関わりを持ち、心地良い時間を少しずつ増やしていきたいと思っています。

入居者それぞれの個性やご希望に沿うように、かつ自立に向けてどういった支援が必要かを考えていきたいと思えます。

共同生活援助 サービス管理責任者：鬼丸 由美子



## しらゆりホーム



### ●秋の遠足(城崎マリンワールド)

10月27日、しらゆりホームでは児童21名、職員12名で豊岡市にある城崎マリンワールドへ行ってきました。遠足で水族館に行くことは初めての試みでした。毎年の遠足では遊ぶことを目的としていましたが、今回は普段できない事を目的にしようと思いを巡らせて考えていきました。そこで考えついていたのが、ホームでは普段食べられないものを食べることでした。またそこでは釣りもでき、釣った魚をその場で揚げて食べることができるので、遊園地と違った楽しみを感じて欲しいと思い、企画しました。



当日、バスに乗って約2時間半をかけ現地、城崎マリンワールドに着きました。現地に着くと職員、こどもたちともにテンションが上がっていました。

園内に入ると大きな水槽が待っており、大きな魚や小さい魚を鑑賞しながら歩いていきました。外に出ると、アシカのショーが始まっており、こどもたちも見入るほどでした。

昼食では目的の一つである海鮮丼をいただきました。海鮮丼も色々種類があり、どの品にしようかと悩むこどももいました。料理が届くと普段食べることができない海鮮丼を、笑顔をいっぱいにして、口の中もいっぱい頬張りながら食べていました。

その後アジ釣りをしました。釣ったアジは天ぷらに調理してもらい、その場で美味しく食べていました。

遠足として水族館に行くことは初めてでしたが、こどもたちにとって良い経験・体験が出来たのではないのかと思いました。今後も行事が続いていきますので、こどもたちの思い出に残るような行事計画を作ってきていきたいと思います。



児童指導員 入江 拓至



## グイン・ホーム

### ●第54回善意の釣り大会

10月14日に全日本サーフキャスティング連盟兵庫協会主催の第54回善意の釣り大会に児童14名、職員6名が参加しました。

善意の釣り大会は毎年、神戸市児童養護施設連盟の施設が招待していただいている行事であり、こどもたちも楽しみにしている行事の一つです。今年度は11施設が参加し、協会の方々、児童、職員で総勢244名の大きな行事となりました。

当日は天気にも恵まれ、よい釣り日和となりました。指導員の方に竿のセットや餌の付け方を教えてもらいながら釣りをする子もいれば、手慣れた様子で黙々と釣りをする子もいました。

小学校5年生のA君は前年度に引き続きこの釣り大会に参加し、人生2回目の釣りに挑戦しました。他の子が釣れ始める中、自分は1匹も釣れていないことに焦っていました。しかし、指導員、職員が励ましの声を掛ける中、あきらめる事無く竿を投げ続け、最後に40センチ近い魚を釣り上げることができ、職員も指導員の方も一緒に大喜びしました。表彰式では、個人の部で2位という輝かしい成績を残すことができました。「最後まであきらめずに続けると良い事があるね」と彼に声を掛けると「本当に良かった。でも俺、天才やから」と嬉しそうに話していました。景品のトロフィーは部屋の机の上で輝いています。他のこどもたちも大きい魚を釣り上げ、グイン・ホームは、団体の部でも準優勝という結果を残すことができました。

ホームに帰園後は、釣った魚を皆で調理しました。進んでお手伝いをしてくれる子が多く、普段魚が嫌いなこどもも「美味しい」と食べている姿も見られました。こどもたちにとって本当に良い経験になったと思います。

児童指導員 宮武 知広



# 児童家庭支援センター しらゆり



## ●児童館巡回支援事業

神戸市には児童館が123館と学童保育コーナー69か所で学童保育が行われています。放課後と学校休業日には、多くのこどもたちが遊んだり、宿題をして過ごしています。街中で外遊びができなかったり、過密気味であったりします。今夏のように熱中症対策のため、終日、屋内で過ごさなければならない中で、多くの支援員たちはこどもたちにとって楽しい場であるように、心を砕いておられます。



神戸市が、児童館や学童保育支援員を支援するための「児童館巡回支援事業」を始めた平成22年当初より、白百合学園では専門講師を派遣しています。内容は、対応の困難な児童に対する指導助言を、保育環境整備や他児との関わりも含め行っています。毎年のように巡回しているところでは、こどもや保護者への対応や環境整備等の工夫が素晴らしく、私たちも学ぶべき点が多くあります。

学童保育に特化した巡回指導は全国的にも珍しく、全国児童館児童クラブ福井大会（H30年11月）での事例発表でも注目されたそうです。また、この事業は行政の担当者も加わっており、引き続きの支援が必要なケースは、区社協や区のこども保健係、内容によってはこども家庭センターとも連携しており、困難ケースへの対応も可能です。

0～18歳までの長い子育て期間を支援する児童館と児童家庭支援センター、ともに連携することで、増加する虐待等の困難事例の早期発見と支援の可能性を拡げていけるのでは、と考えています。

副センター長 荻野 理恵



**お子さんの事で悩んでいませんか？**

**身近に心配なご家庭はありませんか？**

○しつけ

○不登校

○パニック

○いじめ ...

**お気軽にご相談ください**

**児童家庭支援センターしらゆり**



**078-594-7785**

## しらゆりフレンドリークラブ

### ●親子交流行事

フレンドリークラブでは、10月14日「みんなでバーベキュー大会」を実施しました。当日は天候にも恵まれて大勢のこどもたち、保護者の方々、ご兄弟、関係者の方々に参加いただき、大変盛り上がるバーベキュー大会となりました。

ピザ等にも挑戦し、お肉や野菜をたくさん焼いて楽しんでいただいた様子でした。こどもたちは食べ終わると自然の中で元気よく遊んで過ごしました。



11月11日「みんなで楽しく鑑賞&ふれあい体験 神戸どうぶつ王国」を実施しました。神戸どうぶつ王国では世界三大珍獣であるコビトカバや様々な動物とふれあう事が出来るふれあいコーナーで犬に触れてみたり、ドクターフィッシュに足を綺麗にしてもらったりと鑑賞だけではなく、実際に動物にふれあって感性を刺激出来たイベントになったと思います。

うさぎを見て「かわいい!」、うさぎに触って「気持ちいい!」「匂いはどうかなー」等と言いながらワイワイと楽しんでいた様子でした。

これからも鑑賞や体験出来る行事を実施していきたいと思います。

児童指導員 櫛本 尚也

## ●秋の遠足(王子動物園)

11月16日、児童発達支援センターでは王子動物園へ秋の遠足に行ってきました。

予定していた日はあいにくの雨で一週間遅れになりましたが、当日は天気にも恵まれ全員参加することができました。秋の遠足のシーズンとあって園内には幼稚園、保育園児や小学生も沢山いましたが、事前学習で園内での過ごし方や動物について学んだこどもたちは「パンダが見たい」「象はどこ？」と目を輝かせ職員の手を引いて元気いっぱい歩いてまわるすることができました。



こども同士声をかけ合って動物を見る姿、昨年まで園内では動物を見るよりも歩くことを楽しんでいた子も他の子と一緒に動物を見ることができました。昨年は通い始めたばかりではじめての事に混乱して泣いていた子は他のお友だちと一緒に動物園に入り昼食後には皆の輪の中で一緒に動物を見て笑っている姿に成長を感じ、職員一同、胸が熱くなった1日でした。今年度も残り3か月になりましたが、今回の遠足で出た反省点や課題を踏まえ、こどもたちにとってより多くの経験を重ねられるような機会を設け、個々に合わせた支援を継続していきたいです。



児童指導員 藤木 孝子



## しらゆりフrendリークラブひがしなだ



### ●児童発達支援センター



春から一緒に通い出したお友だちとも、手をつないで笑顔でお散歩できるようになりました。

10月17日、児童6名、職員6名で兵庫県立有馬富士公園にあります三田市立有馬富士自然学習センターへ出かけました。

自然の中での観察や、芝生の上でどんぐりや松ぼっくりを探して駆け回ることどもたちは、春からの成長を大きく感じさせてくれました。

小さな発見を「みて！みて！〇〇くん！」とお友達を呼ぶ姿を、職員はそっと見守ります。

初めて遠足に参加することどもも、「お洋服が汚れても大丈夫です！」と職員に託してくれたお母様の言葉が、自然を体いっぱい感じてもらいたい私たちの想いを支援に活かせることができました。

こどもたちの自信に満ちた姿は地域の方々の協力もあります。

事業所に近い商店街に出かけた時には、小さなこどもたちを優しく見守ってくださる店主の方や「こんにちは！」と声を掛けて下さる方々、また少しお兄ちゃんお姉ちゃんになったこどもたちは、遠足の時のようにしっかり手をつないで商店街を歩きます。

児童指導員 八亀 さゆみ



### ●ルミナリエ

12月5日に神戸ルミナリエハートフルデーに行きました。開会式から参加し、最初は真っ暗だった会場が参加者全員の掛け声とともに周り一面に光の輪が出来るのを見ました。最初は、暗かったみなさまの表情も、光が輝いた瞬間にガラリと変わりルミナリエの光に負けないぐらい輝きました。利用者の中には、身体全体を使って喜びを表現されたり、写真や動画を撮って楽しんだりされている方、それぞれいろ

いろな表現方法で楽しまれていました。また、ルミナリエ中に「夜ご飯は？」とルミナリエより夜ご飯の夕食を楽しみにされている方もおられました。ご飯は、ファミリーレストランに行き、みなさま好きなものを食べ、いろいろな飲み物を飲み、とても満足されていました。日常とは違う光の世界を体験し個々に楽しんでいただけたと思います。

生活支援員 廣島 百合子



## 職員紹介



### 保育士 岩谷 茉奈実

私はグイン・ホームの女子担当をしています。主に、こどもたちと関わり、日常生活の支援をしています。

毎日があっという間に過ぎ、上手くいかないこともあります。こどもたちの元気に負けないう、気合いを入れて取り組んでいます。

見た目から、こどもたちに「こども」と言われることもあります。こどもたちを第一に考え、こどもたちにとって心地よい支援が出来る職員を目指して頑張っています。



### しらゆりフレンドリークラブ ひがしなだ 保育士 須田 愛子

主に児童を担当している須田です。

当事業所には、下は2歳から上は61歳までの方が利用されています。土日や祝日には、児童と成人利用者が一緒に外出したりカラオケなどのレクリエーションに参加されたりしています。外出活動を好まれている方も多く、職員も利用者さんが楽しめる場所を探すことに楽しくなっています。

イラスト：アリス・エリザベス・ホーム 鬼丸 由美子

### 相談窓口兼通報窓口のお知らせ

当法人では、相談窓口兼通報窓口を設置いたしました。

法人内の窓口は、下記のとおり各施設の施設長となっております。

障害者支援施設 アリス・エリザベス・ホーム	}	仲 経 敬	TEL：078-591-7768
指定相談支援事業所 しらゆり		村田 一実	TEL：078-593-6637
地域生活援助事業所 エリザベス・グレイス・ホーム	}	津田 克己	TEL：078-593-6667
児童心理短期治療施設 しらゆりホーム		若月 明美	TEL：078-594-7785
児童養護施設 グイン・ホーム		赤井 和歌子	TEL：078-594-7788
児童家庭支援センター しらゆり			TEL：078-441-7288
しらゆりフレンドリークラブ			
しらゆりフレンドリークラブひがしなだ			

社会福祉法人 白百合学園  
<http://www.sirayuri-gakuen.or.jp/>

#### 北本部

〒651-1101

神戸市北区山田町小部字東山 53-14

**障害者支援施設 アリス・エリザベス・ホーム**

**指定相談支援事業所しらゆり**

TEL：078-591-7768/FAX：078-593-0023

#### 東灘事業所

〒658-0081

神戸市東灘区田中町 4-5-1

**しらゆりフレンドリークラブひがしなだ**

TEL：078-441-7288/FAX：078-441-7305

#### 北事業所（しらゆりこども館）

〒651-1144

神戸市北区大脇台 12-1

**児童心理治療施設 しらゆりホーム**

TEL：078-593-6637/FAX：078-593-6632

**児童養護施設 グイン・ホーム**

TEL：078-593-6667/FAX：078-594-1726

**しらゆりフレンドリークラブ**

TEL：078-594-7788/FAX：078-594-7800

**児童家庭支援センターしらゆり**

TEL：078-594-7785/FAX：078-594-7710

## 関連施設

### 創作洋食レストラン ジリオ・ビアンコ



「きたベジねっと」で育てた野菜を毎朝仕入れ、丁寧に調理しています。農作業に携わる障害者自身も、自分たちの作った野菜が、見事な料理になっていく過程や、人々が喜んで食事する姿を見て、自分の仕事にやりがいを感じています。

**T E L 078-441-7289 (予約可)**

**住 所** 兵庫県神戸市東灘区田中町 4-5-10

**交通手段** J R 神戸線住吉駅より徒歩 12 分

摂津本山駅より徒歩 15 分

住吉駅 (J R・六甲ライナー) から約 800m

**営業時間** 平 日 11:00~16:00 (L.O15:00)

定休日 土・日・祝日

#### 料理・料金

##### ■ランチセット

(前菜、スープ、パン付)

メイン 肉 ￥1,800

魚 ￥1,800

パスタ ￥1,500

※メイン以外はお替り自由

### 就農レストラン ジリオ・ビアンコⅡ



しらゆりこども館 1F にて、就労継続支援 (B 型) のサービスを行なっておりましたが、利用者の多様性に合わせ、短期入所しておられる方々や生活介護、生活訓練の方々にも新しい作業・訓練を追加したいと考えておりました。

利用者の皆様の働く場として、また児童施設の就労訓練の場として、そして、「きたベジねっと」で生産した野菜を提供する場として、「就農レストラン ジリオ・ビアンコⅡ」を OPEN しました。

**T E L 078-594-7707 (予約可)**

**住 所** 兵庫県神戸市北区大脇台 12-1

しらゆりこども館 1 階

#### 交通手段

##### ■電車をご利用の場合

神鉄北鈴蘭台駅より徒歩 18 分・タクシー 5 分

##### ■お車をご利用の場合

阪神高速 7 号北神戸線箕谷 IC から車で 10 分

国道 428 号線小部峠を森林植物園へ、病院、高校、

特別支援学校を越えてすぐ

#### 営業時間

平 日 11:30~14:30 (15:00 CLOSED)

土・日・祝日 11:30~14:30 (15:00 CLOSED)

17:30~20:30 (21:00 CLOSED)

#### 料理・料金

##### ■バイキング形式

大人 ￥1,980

小人 (小学生) ￥ 980

幼児 ￥ 480

3才未満 無料

## 編集後記

編集委員会を発足して早いもので 2 回目の発行となりました。先日、委員会の中で委員長に選任されました仲谷です。まだまだ分からないことだらけで至らないことがあると思いますが、よろしくお願いいたします。

委員会の中で、今後 HP での広報誌の閲覧や、地域への発信も考えています。たくさんの方に利用者、入居者の方々、こどもたちのことを知っていただくと幸いです。今後とも編集委員会をよろしくお願いいたします。

しらゆりホーム 児童指導員 仲谷 学士